

(様式1)

## 平成19年度 事務事業評価表

記入年月日	平成19年3月30日	記入者		連絡先	内線2612
平成18年度部名	保健福祉部	課名	地域医療課	課長名	近藤 敏男
平成19年度部名	福祉部	課名	地域医療課	課長名	川野 佐一郎
事務事業名	地域医療協力事業補助金				
予算上の事務事業名	地域医療協力事業補助金				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		12320		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます				
基本施策名	第3節 市民医療の充実				
施策名	第2施策 救急医療体制の充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	地域医療協力事業補助金交付要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付)		5 事業開始年度	平成8年度	
6 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				
救命救急患者に対する医療及び運搬業務の円滑化の推進のため北里大学病院が運営する救命救急センター事業及び相模原協同病院が運営する循環器救急事業を支援する。			(2) 対象(誰、何)		
また、女性特有のさまざまな訴えや病気について、気軽に相談できる女性外来事業について助成を行う。			市民		
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
北里大学病院が運営する救命救急センター事業：重篤救急患者(心筋梗塞、脳卒中、頭部損傷等)の救命医療の確保					
相模原協同病院が運営する循環器救急事業：循環器疾患、腎疾患の救命医療の確保					
女性外来事業：女性特有の病気について相談できる女性外来事業の支援					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移	[単位：千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	55,722	56,388	53,027	53,805	53,805
一般財源	55,722	56,388	53,027	53,805	53,805
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	807	805	805	805	805
事業コスト合計	56,529	57,193	53,832	54,610	54,610
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	北里大学病院救命救急センター事業			対象名称 と単位	市民(人)
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	45,578	46,574	43,357	43,810	43,810
対象数	620,653	624,121	628,864	669,955	674,000
単位あたり経費(円)	73	75	69	65	65
前年度比		1.02	0.92	0.95	0.99

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	開設率（％）	指標式と指標の説明		開設日 / 開設予定日 × 1 0 0	
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績	365.0	365.0	365.0		
目標	365.0	365.0	365.0	366.0	366.0
目標達成度（％）	100.0	100.0	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	患者数（人）	指標式と指標の説明		患者数合計（救命救急センターの患者数）	
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績	1086.0	1038.0	0.0		
目標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
目標達成度（％）	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [ A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない ]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [ A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない ]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [ A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い ]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [ 有・無 ]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[            ]	：良好な状態を維持する事業			
	[            ]	：概ね良好な状況である事業			
	[            ]	：見直しを行う必要がある事業			
	[            ]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			休日・夜間における急病患者に対する医療の確保は市民にとって大変重要なことであり、初期・二次救急体制を維持・確保する上で、三次救急医療機関である北里大学病院救急救命センター及び相模原協同病院の循環器救急事業は不可欠である。
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
			初期救急・二次救急・三次救急の役割分担を再確認するとともに、二次救急医療体制の再構築を図り、三次救急体制の負担の軽減が必要である。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			成果を検証し、効果的な事業の実施を検討する。
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			